

セミナー報告



平成28年度 男女共同参画実践講座 (公開講座と連続講座) 平成29年1月29日(日)・2月4日(土) 2月11日(土)・2月18日(土)

「あなたの周りでできる防災・減災」報告

男女共同参画の視点に立った防災活動を地域で実践するため全4回の連続講座を開催しました。身の回りで出来る防災・減災について、また災害対応時には男女両方の視点が必要であることを理解したうえで、グループごとに事業プランを作

りました。(受講生:10人)
 講師:小林良江さん(群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部 教授)
 :赤羽潤子さん(日本防災士会 群馬県支部副支部長、特定非営利活動法人わんだふる 代表)

【第1回】1月29日(日)



赤羽潤子さん

- ①「とらいあんぐるん防災基礎講座」〈公開講座〉
- ・群馬なら安全?
- ・自分たちの地域は自分たちで守る
- ・避難袋の作り方 など
- (受講生10人の他に参加者28人)

- ② 講義
- 「地域の防災:男女共同参画の視点から」
- ・男性と女性で異なる被害の影響
- ・「災害に強い地域づくり」に男女共同参画の視点が必要な理由



小林良江さん

講義の導入: 県立女子大学国際コミュニケーション学部・小松香奈江さん「なぜ女性の方が被災時に被害が多いか?」



【第4回】2月18日(土)

- ⑤グループワーク
- 「事業プランづくり・まとめ」
- ⑥プレゼンテーション
- ・大切な人を守るための自主防災組織
- ・「備災手帳」づくり
- ⑦修了式



【第2回】2月4日(土) 【第3回】2月11日(土)

- ③「HUGを体験しよう!」
- 避難所運営をゲームでシミュレーション
- ④グループワーク
- 「事業プランづくり」



登録団体との協働事業 平成29年2月22日(水)

防災・減災を考える〜いざという時にあわてない〜「HUG(避難所運営ゲーム)」研修会

生協連女性協議会は防災・減災をテーマとした今年度の活動の集大成として、とらいあんぐるんと連携し、HUGの研修会を開催。参加者は避難者の年齢や性別、国籍や諸事情(ex.ケガをしている、ペットがいる)が記載されたカードを避難所の体育館や学校に見立てた平面図に配置していくことで避難所運営の疑似体験をし、災害時にはどのような視点が必要か考えました。(会場:群馬県勤労福祉センター)



(参加者:28人) 共催:群馬県生活協同組合連合会女性協議会

まめ知識

女性の参画割合:群馬県は全国的に高い?低い?

内閣府が平成29年1月に作成した「全国女性の参画マップ」によると、「自治会長」「市区町村の審議会等委員」に占める女性の割合が、群馬県はそれぞれ「0.5%」「20.3%」で、全国47都道府県中、最下位でした(この2項目は、3年連続で最下位です)。

全11項目を単純平均した群馬県の順位は34位。上半分(23位以内)に位置する項目は「都道府県の地方公務員管理職(8.3%)」「都道府県の審議会等委員(31.3%)」の2項目のみでした。(全項目の順位は、右表参照)

群馬女性の奥ゆかしさ(?)を示しているのかもしれませんが、人口減少社会に立ち向かうとともに暮らしやすい社会を実現するためには、群馬県内の各分野・各地域において、より一層の「女性の活躍と参画」が望まれます。

女性の参画状況(女性が占める割合) 群馬県の順位【全国47都道府県中】

項目	順位
① 都道府県議会議員	35
② 市区議会議員	26
③ 町村議会議員	36
④ 都道府県公務員(大卒程度)の採用者	40
⑤ 都道府県の地方公務員管理職	17
⑥ 都道府県の審議会等委員	20
⑦ 市区町村の審議会等委員	47
⑧ 管理的職業従事者	34
⑨ 自治会長	47
⑩ 都道府県防災会議の委員	27
⑪ 男女共同参画計画の策定状況(市区町村)	45
※本項目は、策定率	
平均順位(11項目の単純平均)	34

「全国女性の参画マップ」より(平成29年1月内閣府作成)

女性のキャリア支援セミナー 平成29年1月28日(土)

女性のためのハッピーキャリア大研究 基礎編



安齋 徹さん

昨年10月に開催し、受講者から大好評いただいた入門編の続編。ワークショップを通して体験しながら「コミュニケーション」「リーダーシップ」「クリエイティビティ」の3つの力を伸ばすポイントを学びました。

(参加者29人)
 講師:安齋徹さん
 (県立女子大学国際コミュニケーション学部教授)



登録団体との協働事業 平成29年2月1日(水)

「定年後の自立と地域おこし」 ~高齢社会を楽しく生きる知恵~



唐澤紀雄さん (参加者:107人)

定年後の地位との関わりや自分の活かし方について考える講演会を開催しました。現役引退後も生き生きと地域の人たちと活動している講師が、家庭以外での居場所づくりや第二の人生について語りました。

講師:唐澤紀雄さん(中之条町大塚さわやかクラブ会長)
 共催:群馬県地域婦人団体連合会

男性の家庭参画講座 平成29年2月26日(日)

「神山一成(日銀前橋支店長)の子育て奮闘記」 ~育児とった(過去形)、子育て真っ最中(現在進行形)~

日本銀行前橋支店長として多忙な日々を送る講師が自身の子育て経験(現在も進行中)や育児休業取得の経緯などについて話しました。「ママとパパは(子育ての)共同経営者みたいなもの」との説明はわかりやすく「互いにきちんと役割を決めて主体的に育児に関わっている」との事でした。また「子育てはママが上司でパパは部下」のたとえには参加者から笑い声があがりました。



神山一成さん



講師:神山一成さん
 (日本銀行前橋支店長)

(参加者:13人)

とらいあんぐるんサロン③ 平成29年2月12日(日)

「誰にでも『居場所と出番』のある地域づくり ~はじめは共感から~」

第3回目のサロンは、「公務員」「一児の母」「地域活動女子」の3つの顔を持ち活動する講師から、活動を始めたきっかけや、「サードプレイス(第3の居場所)があると人生が豊かになる」「コミュニティは、ワークとライフを補完するもの」「はじめは小さな一歩。続けていくことが大事」などのお話がありました。参加者同士の交流会も行いました。



大橋志帆さん

(参加者:14人)
 講師:大橋志帆さん(自主研究会「テレワーク・カフェ」代表)

とらいあんぐるんサロン④ 平成29年3月4日(土)

「やりたいこと×地域にいいことで仕事を創る」 ~ちょいなが流小さく楽しい創業のススメ~



矢口真紀さん

今年度最後のサロンは、女子ならではのアイデア、仕事や趣味などを活かして、自分も周りもうれしくなるような活動を実践している講師による体験ワークショップを開催。等身大の自分で、今いる場所で、今やれることをビジネスにする「月3万円ビジネスづくり講座」を少しだけ学んでいただきました。サロン終

了後も1階交流スペースで連絡先の交換や互いに自分の出来ることについて語り合うなど盛り上がりました。(参加者:24人) 講師:矢口真紀さん(choinaca代表・プランナー)



団体支援事業 平成29年2月11日(土)

「親子料理教室」 ~親子のコミュニケーションアップ!~

家族一緒に料理をすることでコミュニケーションをアップ。男性の家事参画にもつながるセミナーを開催しました。「鶏肉のサテ風」や



「ぺたんこ焼きおにぎり」などを家族で協力しながら作り、参加したお父さんたちも大活躍!
 (参加者5組18人)
 講師:星野かをるさん(管理栄養士)

共催:私たちの未来を考える会
 (平成26年度実践講座修了生有志)